

添地本田町線 道路照明灯の構想

沼津駅周辺土地区画整理事業の目的

沼津駅周辺土地区画整理事業は、鉄道高架事業により発生する空閑地を有効に活用して、既存市街地と一体的な面的整備を行い、公共施設の整備改善と、新しい都心核の形成や良好な都市居住環境の整備などを目的として行います。

道路照明灯の構想について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

添地本田町線に設置する道路照明灯の構想について、広くご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。それらを参考として、今後のより良いまちづくりに役立てていきたいと考えます。



構想 1 [この地域のシンボルとなるデザイン]

道路照明灯は夜間における照明機能を有するとともに、街路景観の要素となります。この構想では、千本松原や沼津港を地域特性のモチーフとして、シンプルなデザインを提案します。

構想 2 [バリアフリーデザインを目指します]

道路照明灯は 8M ~ 10M の高さですが、歩行者に対しては高さ 0M ~ 2M の範囲において安全面での配慮が必要です。この構想では歩行者に対して余計な突起のない、すっきりとした開口部を設けます。

構想 3 [長く美しくあり続ける素材]

道路照明灯をはじめとする道路上の各種設備は、日常的に美観を維持しなければなりません。この構想では、より耐久性に優れ、張り紙や落書きなども落としやすい素材の活用を検討しています。

添地本田町線 道路照明灯の構想

この地域のシンボルとなるデザインのあり方を検討しています。

検討案 A 案：日本有数の景勝地である千本松原の松の葉をモチーフに地域性を表現します。

検討案 B 案：沼津港のイメージを船のマストで表現し、爽やかで明るい海辺の街を演出します。

市民の誰もが安全に歩けるデザインを目指します。

道路照明灯は歩道空間に設置するので、鋼管素材と歩行者の接触による怪我、事故への対策が必要です。この構想では、機器メンテナンスに関わる開口部をフラットにすることで、安全で快適な歩行者空間の実現を目指します。

錆びにくく、美しさを保つ塗装を目指します。

道路照明灯の支柱は溶融亜鉛めっき仕上げによる金属光沢を特徴とした製品が標準的です。この構想では、より錆びにくく、質の高い塗装の採用を想定しています。

